

市民郵送アンケート調査結果

(1) 君津市について

①君津市への愛着・誇り

- 君津市への愛着・誇りは、「少しは感じている」が56.7%と最も多く、「強く感じている」の20.9%を加えると、約8割（77.6%）が愛着や誇りを感じていると回答。
- 愛着・誇りを感じる理由は「生まれ育った場所だから」が51.0%と最も多い。
- 愛着・誇りを感じない理由は「通勤、買い物など生活が不便だから」が44.7%と最も多い。

②君津市の住みやすさ

- 「住みやすい」が49.6%と最も多く、「住みにくい（8.5%）」を大きく上回った。

③定住意向

- 「ずっと住み続けたい」が41.1%と最も多く、「当分住み続けたい」の29.1%を加えると、約7割（70.2%）が住み続けたいと回答。
- 君津市から転出したい理由では「生活するのに不便」が55.2%と最も多い。

④君津市の強み

- 「豊かな自然環境」が71.3%と突出して多く、次いで「都心から50km圏内のアクセス利便性（55.2%）」「臨海部の世界に誇る製鉄所の存在（25.6%）」の順となっている。

(2) 君津市の市政について

①市政への関心

- 「少し関心がある」が44.8%と最も多く、「関心がある」の13.5%を加えると、約6割（58.3%）が「関心がある」と回答。

②市政の情報入手先

- 「広報きみつ・議会だより」が62.3%と最も多く、次いで「回覧板（48.6%）」「市のホームページ（25.8%）」の順となっている。

③市政の情報を得られているか

- 「十分得られている」、「ある程度得られている」が47.8%、「わからない」が11.9%となっている。

④市政への市民意見の反映

- 「十分反映している」、「ある程度反映している」が22.7%、「わからない」が47.7%となっている。

⑤まちづくりへの市民参加意向

- 「ぜひ参加したい」、「分野によっては参加したい」が28.8%、「わからない」が19.5%となっている。
- 参加したい分野は「子育てや高齢の方・障がいのある方への支援など福祉に関する活動」が21.8%と最も多い。
- 参加したいと思わない理由は「時間的なゆとりがないから」が46.3%と最も多い。

⑥市民参加を増やすために市に期待すること

- 「参加しやすい地域活動の企画・運営」が58.0%と最も多く、次いで「地域活動についての広報紙やインターネットでのPR（27.1%）」「地域活動を行う団体との十分な情報共有によるニーズの把握（20.5%）」の順となっている。

(3) 君津市の将来の方向性について

①将来の君津市にふさわしいキーワード

- 「住みやすい」が54.4%と最も多く、次いで「自然豊か（39.8%）」「安全・安心（28.3%）」「便利（16.4%）」「田舎（13.5%）」の順となっている。

②君津市の将来都市像

- 「健康福祉都市」が67.6%と最も多く、次いで「生活安全都市（45.1%）」「環境共存都市（42.7%）」「生活利便都市（31.9%）」の順となっている。

(4) 君津市が行っている取組について

①満足度

- 多くの項目で「満足している」+「どちらかといえば満足」の比率（『満足度』）が、「不満である」+「どちらかといえば不満」の比率（『不満足度』）を上回っている。
- 個別項目で見ると、「健康づくり体制の充実（68.4%）」「防災・消防体制の整備（65.5%）」「交通安全・防犯対策の推進（65.6%）」「生涯学習の推進（69.1%）」で満足度が高い。
- 一方、「商工業の振興（56.8%）」「勤労者環境の充実（50.1%）」「公共交通網の整備（50.9%）」では不満足度が高い。

調査目的	君津市民を対象に、市の強み・課題や望む未来、現行の総合計画の各施策の評価等について調査し、今回作成する新たな総合計画における10年後の将来像や施策の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的として実施。
調査期間	令和2年8月28日（金）～10月9日（金）
回収結果	配布数2,000件（うち有効回答621件、有効回答率31.1%）

②重要度

- 全ての項目で「非常に重要である」+「どちらかといえば重要」の比率（『重要度』）が、「あまり重要でない」+「重要ではない」の比率を上回っている。
- 個別項目で見ると、「高齢者福祉の推進（86.7%）」「子育て環境の整備（85.2%）」「医療体制の充実（87.4%）」などの福祉・保健・医療分野で重要度が特に高い。

③直近5年間での変化

- 全ての項目で「変わらない」の比率が高くなっている。
- 個別項目で見ると、「よくなった」の比率が相対的に高いのは「子育て環境の整備（20.5%）」「健康づくり体制の充実（18.8%）」「市街地の整備（17.9%）」となっている。
- 一方、「悪くなった」の比率が相対的に高いのは「商工業の振興（10.5%）」「勤労者環境の充実（10.6%）」「公共交通網の整備（12.2%）」と不満足度と同様の結果となっている。

(5) 転入促進と転出抑制の対策について

- 「子育て・教育環境の整備」に関する意見 および「住宅・居住環境整備」に関する意見がともに60件と最も多い。

(6) 子育て支援について

- 「子育て支援体制の充実」が59.6%と最も多く、次いで「保育環境の整備（53.8%）」の順となっている。

(7) 教育環境の充実について

- 「安全・安心な教育環境の整備（学校等の設備改善）」が66.5%と最も多く、次いで「新しい時代に必要となる資質・能力の育成（外国語や情報教育の強化）（63.3%）」「図書館の利用促進（13.0%）」の順となっている。

(8) 水と緑を活かしたまちづくりについて

- 「担い手の育成と収益性の高い農業の推進」が52.5%と最も多く、次いで「君津観光ブランドの確立・強化（48.1%）」「農産物のブランド化と市内外への普及促進（45.6%）」の順となっている。

(9) 土地利用について

- 「JR君津駅周辺に、医療・福祉・商業などの都市機能を充実させ、魅力的な都市空間の形成を図る」が29.8%と最も多く、次いで「東京湾アクアラインなどによる首都圏からの交通利便性を活かし、宅地の整備を進める（26.1%）」の順となっている。

(10) 新型コロナウイルスの影響について

①日常生活への影響

- 「まあまあ及んでいる」が49.3%と最も多く、「かなり及んでいる」の25.4%と合わせると、約7割（74.7%）が『及んでいる』と回答。
- どのような影響が及んでいるかについては、「移動機会の減少」が68.5%と最も多く、次いで「経済・社会への不安拡大（41.2%）」「自身の健康不安拡大（36.2%）」の順となっている。

②君津市への影響

- 「外出・移動の減少に伴う活気の落込」が60.2%と最も多く、次いで「消費減少に伴う商業への悪影響（54.1%）」「教育環境への影響（43.5%）」の順となっている。

③力を入れるべき市の取組

- 「安心な医療体制確保に向けた支援」が67.8%と最も多く、次いで「感染防止策の徹底（55.6%）」「新たな生活様式の周知・徹底（34.5%）」の順となっている。

(11) 自然災害対策について

①脅威を感じる自然災害

- 「台風」が94.7%と最も多く、次いで「地震（86.8%）」「集中豪雨（53.8%）」の順となっている。

②力を入れるべき災害対策

- 「災害時の情報伝達体制の整備」が54.4%と最も多く、次いで「非常用物資の備蓄の充実（54.1%）」「応急医療体制の充実（39.1%）」の順となっている。

③台風被害からの復興でできること

- 「地域での助け合い体制の確立」が55.4%と最も多く、次いで「地元の小売・飲食店の積極的な利用（47.7%）」「防災知識の習得・啓発活動（40.6%）」の順となっている。